

# 事業概要

令和5年度

広島県立総合技術研究所  
西部工業技術センター

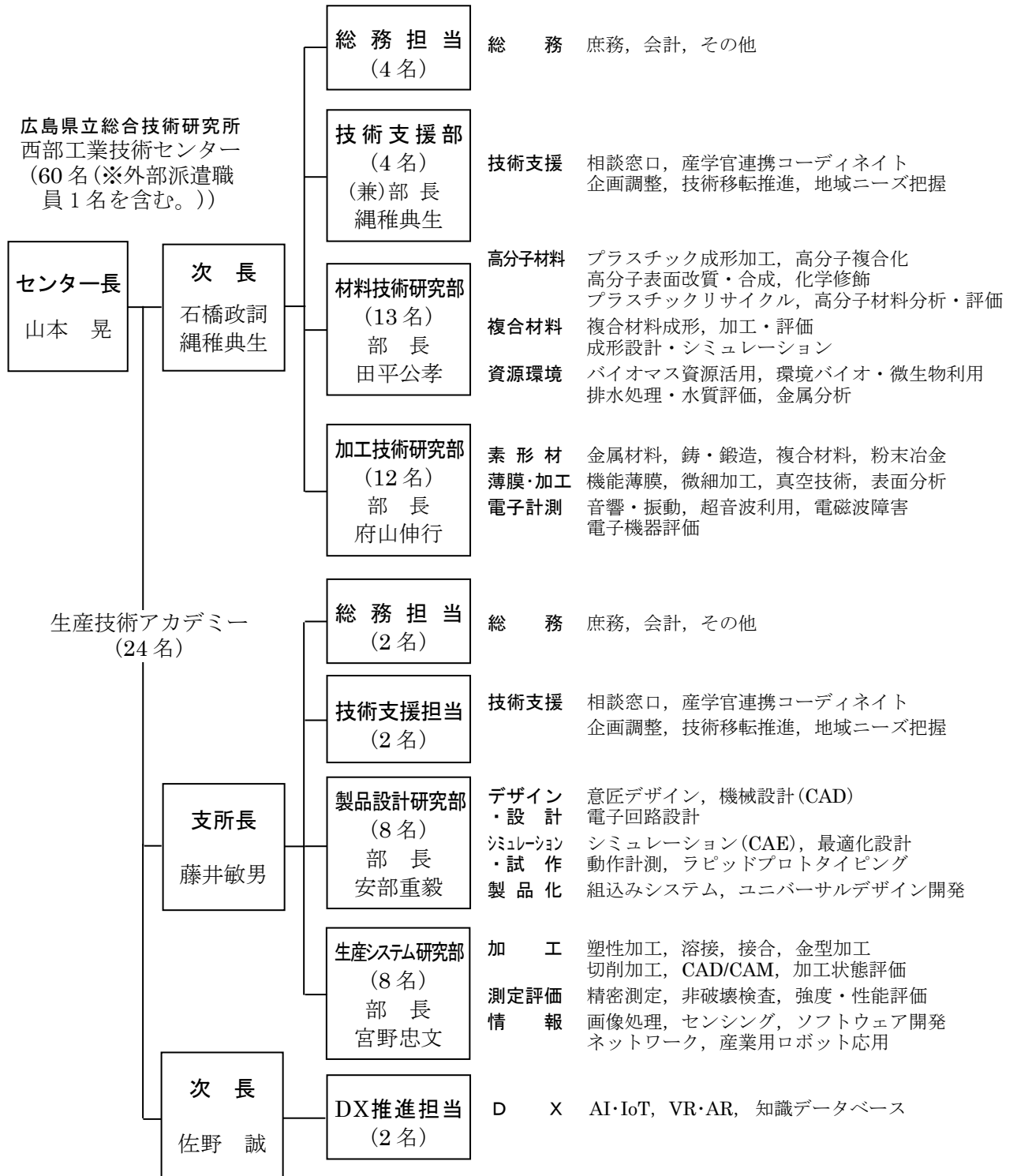
# 目 次

I	事業実施体制	
1	組 織	1
2	予 算	1
II	事業内容	
1	研究開発事業	2
	(1) 課題解決研究（一般型）	
	(2) 課題解決研究（共同研究型）	
	(3) 共同研究（競争的外部資金等研究）	
	(4) 基盤研究	
	(5) 受託研究	
2	D X 事業	4
3	技術支援事業	5
	(1) 技術相談・指導	
	(2) 依頼試験	
	(3) 設備利用	
	(4) 技術的課題解決支援事業	
4	技術移転事業	7
	(1) 一般公開	
	(2) 広報活動	
	ホームページによる情報提供	
5	人材育成事業	8
	(1) 企業等研究員受入	
	(2) 技術者研修	
6	産学官交流事業	8
	(1) 研究会活動	
7	その他	8
	(1) 職員研修	
	(参考) 連携・協力機関	9

# I 事業実施体制

## 1 組織

(令和5年4月1日現在)



## 2 予算

(単位:千円)

区分	管 理 費 運 営 費	研 究 費 開 発 費	DX研究技術 支 援 強 化	研 究 員 養 成 費	研 究 開 発 広 報 費	技 術 指 導 費	計
金額 (千円)	111,130	14,953	13,672	851	718	50,424	191,748
比率 (%)	58.0	7.8	7.1	0.4	0.4	26.3	100.0

## II 事業内容

### 1 研究開発事業

企業のニーズに応え、産業技術の高度化や新規成長分野に対応できる研究開発に取り組みます。

#### (1) 課題解決研究（一般型）

企業群や事業局からの明確な課題解決要請を基に、技術支援では対応できない課題を迅速に解決するための技術開発です。

技術分野	研究課題	研究期間 (年度)	担当部
材料製造プロセス	デジタルものづくりによる不良レス射出成形技術の開発	R4～ R6	材料技術研究部 加工技術研究部 生産システム研究部

#### (2) 課題解決研究（共同研究型）

新技術・新製品開発など、当センターと企業が研究費用を分担し技術知識を交換しながら共同で実施する研究として、次の2課題を実施します。

なお、研究の結果、共同発明があった場合の特許出願の取扱いや研究成果の公表については、双方の協議により決定します。

技術分野	研究課題	研究期間 (年度)	担当部
デザイン開発	質感パラメータ決定手法の開発	R5	製品設計研究部
設計/センシング技術	薄板構造物の高精度な強度解析技術及びセンシングシステムの開発	R5	製品設計研究部 加工技術研究部

### (3) 共同研究（競争的外部資金等研究）

産業技術の高度化や新規成長分野に対応する技術開発のため、大学・企業と連携し、競争的外部資金等による研究開発を行います。

事業名	研究課題	研究内容	期間 (年度)	担当部
成長型中小企業等研究開発支援事業	光改質により強固なガラス化層を有するポリカーボネート樹脂製透明材料の開発	軽量でデザイン性に優れるポリカーボネート（PC）樹脂製の窓は強化ガラスに代わる次世代自動車用窓素材として期待されているが、現在実施されているハードコート表面処理による耐久性の向上は自動車用途での要求レベルには達していない。本研究開発では、独自技術であるポリシラザンと光改質技術を用いてハードコート層の最表面に緻密なガラス層を形成することで「超耐久性」を有した自動車用樹脂窓の開発を目指す。	R4 ～R6	材料技術 研究部

### (4) 基盤研究（所長枠）

将来の技術支援に不可欠な新技術の獲得や、総合技術研究所が強みを持つ技術の高度化のための技術開発を行います。

技術分野	研究課題	研究期間 (年度)	担当部
加工技術/機械学習	熟練技能のデジタル化に関する研究	R5	加工技術研究部
加工技術	デジタルツインを実現するための成形中の金型可視化技術の開発	R5	加工技術研究部

### (5) 受託研究

技術的な課題について、企業等からの委託により研究を行います。

受託研究に要する経費は、別に定めた算定基準により概算額をお知らせして、期日までに納入していただき、研究終了後に精算します。

研究による特許については、原則として県に帰属しますが、委託者の貢献があると判断される場合は、持分の割合等の取扱いを別途定めることとします。

また、研究成果の公表については、参加企業等の合意のもとで行います。

## 2 DX事業

デジタル化に関する企業のニーズに応えるため、○センター内でのデジタル技術を活用できる人材の育成と、○デジタル技術による研究員の持つ技術の見える化及び継承について取り組んでいます。ここで獲得した人材と技術を生かして、企業現場におけるデジタル化に関わる技術支援に展開していきます。

技術分野	取組課題	研究期間 (年度)	担当部
画像処理 / AI /AR 技術	事業者支援のための DX 基盤技術の構築	R5～ R7	DX 推進担当 製品設計研究部 生産システム研究部 加工技術研究部

### 3 技術支援事業

#### (1) 技術相談・指導

企業の抱えている技術的な問題点や新製品開発等について相談・指導に応じます。また、現地での指導も行います。

誰もが容易に入手し得る情報、一般的な知見、公知の技術などに基づく技術指導は無料ですが、現地指導については、旅費相当額をご負担いただきます。

主な技術相談・指導項目	担当部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助事業の情報提供</li> <li>・ 図書・技術雑誌・資料の閲覧及び情報提供</li> </ul>	技術支援部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有機・高分子材料</li> <li>・ プラスチック成形加工技術，複合化技術</li> <li>・ 高分子合成技術，表面改質技術，プラスチックリサイクル技術</li> <li>・ 高分子材料試験・分析・物性評価技術，耐候性試験，恒温恒湿試験</li> <li>・ 資源環境分野・バイオマス活用技術，廃棄物の再資源化技術</li> <li>・ 微生物利活用技術，排水処理，水環境浄化技術，海洋利用技術</li> <li>・ 金属分析技術，無機物分析技術</li> <li>・ 繊維強化複合材料の成形，加工・評価</li> <li>・ 繊維強化複合材料の設計・シミュレーション</li> </ul>	材料技術研究部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金属とその複合化，放電焼結，鋳造，鍛造，熱処理</li> <li>・ 金属材料の組織・物性・機械的性質の評価，機械部品等の破損解析</li> <li>・ 機能薄膜の成膜及びその利用，腐食・防食，表面処理</li> <li>・ 微細加工，真空技術</li> <li>・ 電磁波障害（EMC）対策と電子機器評価，音響振動測定，騒音対策</li> <li>・ 表面分析</li> </ul>	加工技術研究部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意匠設計，機能設計，情報機器アクセシビリティ，ヒューマンマシンインターフェース技術</li> <li>・ 製品設計・製品化技術（三次元設計，シミュレーション，ラピッドプロトタイプング，形状計測，リバースエンジニアリング，最適化設計）</li> <li>・ システム設計（画像検査用アルゴリズム）</li> <li>・ 材料評価（微細構造・表面観察，組成分析，非破壊検査）</li> </ul>	製品設計研究部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工・測定（複合加工，精密測定技術）</li> <li>・ 成形・接合（プレス・鍛造成形，レーザ応用）</li> <li>・ 材料評価（金属材料の物性・強度）</li> <li>・ 情報処理（画像処理技術，ネットワーク・データベース技術，センシング技術）</li> <li>・ 高精度加工（金型加工，切削加工，CAD/CAM，NCデータ最適化システム）</li> <li>・ 産業用ロボット応用，生産自動化システム</li> </ul>	生産システム研究部

## (2) 依頼試験

企業の依頼により、各種の試験や加工、分析、測定、試作等を有料で行います。

主な依頼試験	担当部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高分子材料分析（熱分析装置、顕微赤外分析 等）</li> <li>・高分子材料試験（引張、曲げ、衝撃、硬さ 等）</li> <li>・恒温恒湿試験</li> <li>・金属材料分析</li> <li>・油分物性（引火点、発熱量 等）</li> <li>・工業用水、排水の試験</li> </ul>	材料技術研究部
<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料試験（引張、曲げ、圧縮、硬さ、摩耗、疲労 等）</li> <li>・機械・器具等の試験（製品等の性能及び強度）</li> <li>・写真（光学顕微鏡による組織観察、電子顕微鏡（SEM）による破面観察、元素の定性・定量分析 等）</li> <li>・騒音及び振動測定、製品の振動試験</li> </ul>	加工技術研究部

## (3) 設備利用

保有している設備を、企業の新製品や新技術開発等に有料でご利用いただけます。

（主な設備利用機器）

主な設備利用機器	担当部
二軸混練押出機、射出成形機、万能試験機（10t）、アイゾット衝撃試験機、赤外分光分析装置（顕微）、ICP（高周波プラズマ分析装置）、イオンクロマトグラフ、熱分析装置、蛍光X線装置、恒温恒湿室、恒温槽、低温恒温器、熱変形温度試験機、CFRP オートクレーブ（大型、小型）、高速衝撃試験機、レーザ超音波可視化検査装置、油圧熱プレス、切断機、複合材料カッティングマシン、硬化炉、垂直循環型回流水槽、自航要素計測装置	材料技術研究部
電子顕微鏡（SEM）、光学顕微鏡、顕微鏡粒子解析装置、粒度分布測定装置、微小硬度計、疲労試験機、万能試験機（50,100t）、摩擦摩耗試験機、ホットプレス、プラズマエッチング装置、マスクアライメントシステム、スパッタ装置、CVD装置、放電焼結装置、振動試験機、無響室、残響室、シールドルーム、音響計測装置、耐電圧試験機、表面抵抗計	加工技術研究部
ラピッドプロトタイピング装置、三次元ソリッドモデラー、デザイン用三次元CAD、樹脂成形シミュレーション装置、プレス成形シミュレーション装置、動作解析装置、筋電計、測圧器、モデルベースシミュレーションシステム、モデル同定システム、X線CT検査装置、残留応力測定装置、X線分析顕微鏡、3次元動作・形状解析システム	製品設計研究部
NCフライス盤、万能塑性加工機、三次元測定機、表面粗さ測定機、非接触三次元測定装置、引張試験機、赤外線熱画像装置、走査型電子顕微鏡、イメージ分光システム、高速マシニングセンター、5軸マシニングセンター、計測データ記録装置、溶接ロボット、全焦点三次元測定装置	生産システム研究部



#### (4) 技術的課題解決支援事業

企業の依頼により、調査、測定、分析、評価などの手法を通じて、技術的課題の解決を請け負うとともに、技術指導と併せ、検討結果などを記載したレポートを交付します。この場合、技術料と設備利用相当額をご負担いただきます。

### 4 技術移転事業

研究成果をはじめとしたセンターの保有技術や設備機器の利活用促進を図るため、セミナー開催、展示会への出展、出前プレゼン等を行います。また、広報活動として、研究報告等の発行や、報道機関等を通じた発信、ホームページによる情報提供を行います。

#### (1) 保有技術紹介セミナー（予定）

日 時：11月頃

場 所：当センター（広島県呉市阿賀南2丁目10-1）

及び生産技術アカデミー（東広島市鏡山3丁目13-26 広島テクノプラザ1階）

または、ウェビナーによるオンライン

#### (2) 広報活動

##### ホームページによる情報提供

- 研究報告、業務年報、事業概要
- 技術支援メニュー（技術相談、現地指導、技術的課題解決支援事業、依頼試験、設備利用などとその申請書様式）
- センターの保有技術、研究開発、設備と料金、イベント・公募、研究会、組織

## 5 人材育成事業

### (1) 企業等研究員受入

企業等の研究員を一定期間受入れ、試験設備の利用と技術指導により、新技術等の自主的開発及び技術課題の自主的解決を支援します。

### (2) 技術者研修

県内中小企業の技術者に対し、技術に関する専門知識及びこれに関連する必要な事項について研修を行うことにより、専門的な知識を習得していただきます。

本年度は、次のテーマを実施します。

研修テーマ	研修内容	研修期間	定員	開催時期	担当部
めっき技術者研修	ものづくりの基礎であるめっきの概要、治具作り、Ni-Crめっき、Znめっき、クロメート処理、各種分析法などを実習を通じて、一連の技術の習得を図ります。 (県市連携「電気めっき技能検定試験準備講座」の一環として実施)	1日	20名	7月1日	材料技術研究部

## 6 産学官交流事業

### (1) 研究会活動

技術の最新情報や参加企業等相互の情報交換、技術向上のための講習会等の開催、また共同研究等を実施するための研究会活動を行います。

本年度は、次の研究会活動を実施します。

研究会	活動内容	担当部
広島県 AI・IoT・ロボティクス活用研究会	産業用ロボットやAI, IoTによる生産活動の高機能化を実現し、県内企業の生産性向上を図るため、産業用ロボット、AI・IoT技術及び生産システムに関する最新技術の紹介や会員からの情報提供等を行います。	D X 推進担当

## 7 その他

### (1) 職員研修

職員の資質向上を図るため、学会や技術研修に職員を派遣します。

- 中小企業大学校派遣研修
- 各種学会への出席
- 短期客員研究員の受入れ

(参考) 連携・協力機関

地域団体や大学が進める技術関連事業に対して、共催、後援、情報提供、人材の派遣・受入れなどの協力・支援を行います。

機 関 名	所 在 地	TEL (FAX)
広島商工会議所	〒730-8510 広島市中区基町 5-44	082-222-6610 (082-222-6664)
呉商工会議所	〒737-0045 呉市本通 4 丁目 7-1	0823-21-0151 (0823-25-5544)
東広島商工会議所	〒739-0025 東広島市西条中央 7-23-35	082-420-0301 (082-420-0309)
東友会協同組合	〒732-0802 広島市南区大州 5 丁目 3-33	082-284-3030 (082-281-5427)
広島県中小企業団体中央会	〒730-0011 広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル 6F	082-228-0926 (082-228-0925)
広島県プラスチック工業会	〒739-0152 東広島市八本松町吉川 5782-58 東広島地域職業訓練センター内	082-429-4745 (082-429-4745)
中国表面処理工業組合	〒739-2117 東広島市高屋台 1-5-18 (株)ワイエスデー内	082-434-6160
広島県鋳物工業協同組合	〒733-0013 広島市西区横川新町 8-25 広島県鋳物会館ビル 2F	082-232-4235 (082-234-4488)
広島地区鋳工業組合	〒737-0154 呉市仁方棧橋通 1493-200	0823-79-5534
広島金属熱処理協同組合	〒732-0802 広島市南区大州 3-6-24 (株)ナガト内	082-282-4361 (082-282-4262)
広島県針工業協同組合	〒730-0803 広島市中区広瀬北町 3-11-303	082-233-0470
広島大学大学院工学研究科	〒739-8527 東広島市鏡山 1 丁目 4-1	082-424-7505
近畿大学工学部	〒739-2116 東広島市高屋うめの辺 1 番	082-434-7000
広島工業大学	〒731-5193 広島市佐伯区三宅 2-1-1	082-921-3121
広島国際大学	〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36	0823-70-4500
呉工業高等専門学校	〒737-8506 呉市阿賀南 2 丁目 2-11	0823-73-8400
県立広島大学	〒734-8558 広島市南区宇品東 1 丁目 1-71	082-251-5178
(独)産業技術総合研究所中国センター	〒739-0046 東広島市鏡山 3-11-32	082-420-8230 (082-423-7820)
(公財)中国地域創造研究センター	〒730-0041 広島市中区小町 4-33 中電ビル 3 号館 5 階	082-245-7900 (082-245-7629)
(一社)中国地域ニュービジネス協議会	〒730-0017 広島市中区鉄砲町 1-20 第 3 ウエノヤビル 7 階	082-221-2929 (082-221-6166)
(一社)広島県情報産業協会	〒730-0052 広島市中区千田町 3 丁目 7-47	082-242-7408 (082-242-0668)
(一社)日本溶接協会広島県支部	〒737-0811 呉市西中央 3 丁目 9-6 上本ビル 2 階 201 号室	0823-21-3331 (0823-21-2717)
(株)広島テクノプラザ	〒739-0046 東広島市鏡山 3 丁目 13-26	082-420-0500 (082-420-0501)
広島県職業能力開発協会	〒730-0052 広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ 5F	082-245-4020 (082-245-4858)
(公財)ひろしま産業振興機構	〒730-0052 広島市中区千田町 3 丁目 7-47 広島県情報プラザ内	082-240-7715 (082-242-8627)
ひろしまデジタルイノベーションセンター	〒739-0046 東広島市鏡山 3 丁目 10-32	082-426-3250
ひろしま産学共同研究拠点	〒739-0046 東広島市鏡山 3 丁目 10-32	082-431-0200 (082-431-0201)
(公財)くれ産業振興センター	〒737-0004 呉市阿賀南 2 丁目 10-1 広島県立総合技術研究所西部工業技術センター内	0823-76-3766 (0823-72-0333)

## 令和5年度 事業概要

### 広島県立総合技術研究所

#### ○ 西部工業技術センター

〒737-0004 広島県呉市阿賀南2丁目10番1号

TEL : 0823-74-1151 FAX : 0823-74-1131

E-mail : wkcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

(各部直通電話)

- ・総務担当 0823-74-0050
- ・技術支援部 0823-74-1151
- ・材料技術研究部 0823-74-1152
- ・加工技術研究部 0823-74-1158

ホームページ : <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/27/>

#### ○ 西部工業技術センター 生産技術アカデミー

〒739-0046 東広島市鏡山3丁目13番26号

TEL : 082-420-0537 FAX : 082-420-0539

E-mail : sgagijutsu@pref.hiroshima.lg.jp

(各部直通電話)

- ・技術支援担当, 総務担当 082-420-0537
- ・製品設計研究部 082-420-0540
- ・生産システム研究部 082-420-0566
- ・DX推進担当 //

ホームページ : <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/>

#### ※ お問い合わせについて

- ・各技術へのご相談等は、直接、担当部にお問い合わせください。
- ・担当部が分からない場合や各担当部に属さない事項は、技術支援部（生産技術アカデミーは技術支援担当）にお問い合わせください。